

エグゼクティブ・サマリー

House of Withered Blossom の地下を 4 エンカウンター分くらい進みました。

Minkai の成金は紙幣を燃やして明かりをとるらしいのこと (Rosetta の手記より)

■ ■ 門の前

House of Withered Blossom の地下 , 豚將軍の領地の奥 , その闇はあまりに深く暗い . 夜目の効く私もこれほど暗いとは思わなかった . いつもは頼もしい Everburning Torch や Light の明かりがあまりに頼りない . これでは足元もおぼつかないので , 左手で剣訣を構えて一言二言唱えて Daylight を起動する . どうだあかるくなったらう .

遠くから水音が聞こえていたが , 洞窟をしばらく進むと行く手に川が立ちふさがった . そして川の向こうには石造りの建物とパゴダ . 作りから察するに , ここから本格的に本拠地ということだろう .

ほどなく建物の壁面に作りつけられた門が空いて隊伍を組んだ Hobgoblin が出てきた . 危機に対する反応の速さと統率でうかがい知ることができる . 奴らは手練の戦士である . 前は侮っていたが , 今の私たちは経験で知っている .

いよいよかと柄に手を掛けたところ Dian と Risaka が鋭い警告を発した . 川を見ると水が俄に盛り上がり , 15 フィートほどの大きな人形を取った . Water Elemental . それも 2 体 . こいつと水中でやりあうのはゾツとしない .

Dian の掛け声で戦端は切って開かれた . その言葉にはじき出されるように Kiri が走り , Water Elemental へと跳びかかると.....そのまま水底に沈んでいった . 水深は 60 フィートほどもあるうか . 致命の深さである . あかん .

川向うからは雨霰と矢が射掛けられるので TinyHut で阻害する . 盲滅法に打放された矢が耳元をかすめていく .

Kiri は上がってこない . そうか , あかんか .

Water Elemental には Curro が張り付き Scimiter を振るうが、思ったように刃が通らないようだった。フリーな方の Water Elemental は Kiri を追って水面下へと潜っていく。まずいかもしれない。Halfwol が水際に近寄って Levitate を唱えて浮上させたからよかったものの、もう少し遅ければかなり危なかった。こちらの地面にあげてしまえば WaterElemental もかなり大人しくなる。Curro と Kiri が WaterElemental を片付け、川向うの Hobgoblin は Halfwol の ThunderBurst と私の Fireball で掃除した。

川を飛んで渡って跳ね橋を下ろし、先に進んだ。

■ ■ 食料庫

建物に入って右手の部屋を開けると、餿えた匂いが鼻を突いた。地衣類の産した壁からはよきよきと茸が生えている。

Dian が推測するにはどうやらここで茸を栽培して食料にしているらしい。こんな不衛生な環境で育ったものを食べて大丈夫なのだろうか？

食事を選び好みできない身分であることは重々承知しているが、気分が悪くなってしまった。

■ ■ 銅像の部屋

行き止まりだった食料庫を後にして、左手の扉に入る。人型生物の像があり、それを取り巻くように異形の生き物の像が見えた。

Dian が言うには人型生物は Ja Noi Oni、その落とし子は Na-Ga というらしい。

奥に下り階段があったので、下に向かうことにする。

■ ■ 広い部屋

下ると、広い部屋が広がっていた。Daylight に照らされ、囚人が拷問されているタペストリが浮かび上がる。ありきたりの、おぞましい、ろくでもない、Cult の風景だ。

見るからに怪しげなダブルドアが部屋にあった。聞き耳をたてようと Halfwol が近づくとドアは向こう側が開かれ、Hobgoblin と StoneGolem が姿を現した。難なく退ける事はできたものの Risaka は3発しか玉を撃たなかった。自然に優しい。

傷も増え、Halfwol の呪文も減ってきたのでこの日は撤退して休むこととする。

Minkai の成金は奴隷に丸木橋をわたらせる催しを開催するらしいのこと
(Rosettaの手記より)

■ ■ 大穴の部屋

ダブルドアの向こうに行くと、カーテンが下がっていた。Windsight で除けなかったので Mage Hand でまくると大穴が広がっていた。穴は深く、靄がかかっておりそこを見通すことは出来ない。大穴には太い鉄の角柱が井桁に渡されており、どうやらこれを渡って進むことができるようだった。

恐る恐る Curro が渡り出すと大穴の四方、鉄の橋の向こうにあるカーテンがめくれ上がり、この闘技場の对手が襲いかかってきた。一体は空をとぶ Ogre Mage Oni であり、残りはこの Cult を構成する Hobgoblin たちであった。Hobgoblin たちは鎧をつけておらず、Nunchack を振り回している。我々を苦しめてきた戦士とは少々毛色が違うが、気をつけるに越したことはない。

Ogre Mage は早速 Cone of Cold を解き放ったので、固まっていた我々は手ひどい被害をうけることになった。空をとぶ Ogre Mage を撃ち落とし、Hobgoblin たちを牽制するべく、Risaka は鉄の橋を渡り、大穴と四方を射程に収める絶好の射撃位置に陣取った。

だがしかし、脅威は Ogre Mage ではなかった。Hobgoblin は曲芸じみた速度で走り寄ってくると Nunchak で猛然と Risaka に足払いを掛けた。綺麗に軸足を刈られ、大穴へと落下していく Risaka。そういえば昨日もこんな光景を見た。

ひどい靄がかかっており、大穴の底は見通せない。ただ、Risaka の怯える声で生存が確認できた。

「石だらけだ、どうなってるんだ畜生」

「クソ、なんだ、巨大な、ウシ」

そこで声が途切れた。あかん。

ひとまず状況確認のため穴の底に向けて Gust of Wind を放つ。もやが吹き飛ばされて顕になったのは、石になった Risaka と巨大な Gorgon。

これあかんやつや .

Gorgon は石になった相手を破壊する習性がある . 大変に凶暴な生き物だ . Risaka を一旦戦力外として放っておき , 状況が落ち着いてから助ける , という余裕はない . そこでまたしても Halfwol が Levitate で Risaka を浮上させるファインプレーで事なきを得た .

上空まで浮上した Risaka が体の自由を取り戻したのを見届けた時 , 大穴の底で Gorgon がこっちを向くのが視界の端に見えた . 緑色の蒸気が吹きつけられたのを見たところで , 私の記憶は一瞬途切れた .

気がつくとも私は引き上げられており , 違和感はあるものの体は自由に動くようだった . どれだけ私は止まっていた ?

まだ戦いは続いているようだったので Hobgoblin を崖下に落として落とすなどしていたが Kiri が OgreMage を撃ち落とすのが見えた . 魔力の残滓からか OgreMage は穴の底へとゆっくりと降りていく . このままでは OgreMage の死体は落下して Gorgon のおもちゃになってしまう . Wall of Ice を大穴の両側につっぱらせて支えた . これでなんとか , 回収成功である . Hobgoblin を始末し , 穴底の Gorgon も矢を射かけて破壊した . 一体何のためにこんな大掛かりな仕組みが用意されていたのか . るくでもない目的には違いはないだろう .

OgreMage の居室を探索するなどしてこの日は帰還した .

Minkai では飛び石を渡る人に枕を投げつける見世物があるらしいのこと
(Rosetta の手記より)

■ ■ 飛び石の部屋

大穴の向こうのカーテンを抜けると , 自然洞窟に出た . 建物の前を流れていたと思しき地下河川が渦を巻いて更に地下深くに流れ込んでいるようだった .

滑りやすくなっている螺旋階段を飛んでよけつつさらに下って行くと開けた空間に出た . 地下河川は轟々と音を立てて滝となっていた . 飛び石のように石が配置されて向こう岸に渡れるよ

うにはなっていたが、足を滑らせて落ちたらやはりただではすまないだろう。そして向こう岸には Nunchak を構えた Hobgoblin。同じ手をそうなんども食うものか。近寄らせる前に始末してやると意気込んでいたらどこからか燃える矢が射掛けられた。僅かな隙間から羽の生えた女が燃え盛る弓矢を構えている。Erynies。ついに Demon のお出ましである。

苦しい展開だ。Curro が手近な飛び石に飛び移ると、強力な精神波に押し流されそうになる。どうやら飛び石に Confusion の罠が仕掛けられているようだ。相当に用意周到である。何とかこらえて周囲に目をやると、Risaka が胡乱な目をして、ダメージ出せなくてすいませんと謝罪しながら叩頭していた。

ああ、あかんかったんやな。

Dian は飛び石から落ちて TowerShield を船のようにしてしのいでいた。何にせよこのままここで Erynies の的になるのは御免被る。Erynies が矢を射かけてくる隙間を Wall of Stone で塞ぐが、しばらくすると別の隙間から矢が飛んできた。これはどうしようもない。

ある程度撃たれるのを覚悟で隙間の向こう側へと回りこむしかない。飛べるものは飛び、そうでないものは跳んで、一部は泳いで向こう岸へとわたる。そして段差を乗り越えて迂回路を通り、無理に進んでいく。

UnholyBlight を耐えてジリジリと進んでいく。長すぎた橋を超えてついに洞窟の最奥部に Erynies を追い詰めた。そこには巨人がおり、GreatClub で手ぐすね引いて待っていた。

Kiri と Curro が交代で戦線を支えねばならないほどの強敵だったが「おれはしょうきにもどった」とばかりに Risaka がやってきて号砲一発、巨人はどうと倒れ伏した。Erynies も懐に入られれば持ち味を出せず Smite の前に崩れ去った。

とは言え満身創痍なので、今日はここまでにして戻った。

経験点の部

Name	Pt
harfwol	0.7
rosetta	0.4

dian	0.3
curro	0.3
risaka	0.4

日程

セーブ：6月12日（193日）